

2015年8月6日
公益財団法人日本科学技術振興財団
科学技術館
館長 野依良治

科学技術館開館50周年記念2015年夏休み特別展
「くらしの技術⇄50年『大・展望展』」開催について

公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館（館長：野依良治）は、開館50周年イベント「くらしの技術⇄50年『大・展望展』」を8月8日（土）から8月30日（日）まで開催します。

東京オリンピックのあった1964年に開館した科学技術館は、50周年を迎えた2014年から、運営母体の財団設立55周年に当たる2015年にかけて、「創ろう、私たちの未来をNEXT50!」をキャッチフレーズに、「ニッポンの産業技術50年 ～今日の技術が未来をつくる～^{ちから}」というプロジェクトを2年にわたり進めてきました。2015年夏休み特別展「くらしの技術⇄50年『大・展望展』」は、そのメインイベントです。

進化をつづける「クルマ」、ケータイやインターネットなど「コミュニケーション」、ものづくりの材料「プラスチック」、そして「食べ物の保存と加工」などの暮らしに身近な技術の「これまで」をふりかえることをとおして、未来をつくっていく私たち自身が「これから」を大展望します。

ほかに、電子レンジや洗濯機などの「家電の解体ショー」、電卓登場の前に活躍していた「手回し計算機」体験、ぶつからないためのクルマの技術「アイサイト」、などの技術をかいせつするワークショップや、大学生が手づくりで取り組む「全日本学生フォーミュラ」、地上と宇宙を繋ぐ夢「宇宙エレベータ」研究の最前線などのトークショーもあります。

<2015年夏休み特別展>

名 称：科学技術館開館50周年記念 2015年夏休み特別展

「くらしの技術⇄50年『大・展望展』」

主 催：公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館

会 期：2015年8月8日（土）から2015年8月30日（日）まで

会 場：科学技術館 1階イベントホール

入 館 料：大人720円／中高生410円／子供（4歳以上）260円

※科学技術館入館料のみでご覧になれます。

協 力：アルケーウィル株式会社、株式会社アールティ、株式会社イワキ、インテル株式会社、WHILL株式会社、NTTアクセスサービスシステム研究所、NTT技術史料館、NTTコミュニケーション科学基礎研究所、NTT先端技術総合研究所、NTTデバイスイノベーションセンタ、株式会社NTTドコモ、株式会社エフピコ、エム・エス・シー株式会社、株式会社大林組、神奈川工科大学、株式会社クレハ、株式会社講談社、株式会社コバヤシ、サンスター文具株式会社、株式会社ジェイアール東海エージェンシー、公益財団法人JKA、公益社団法人自動車技術会、シヤトコ株式会社、株式会社秋東精工、スタンレー電気株式会社、セールス・オンデマンド株式会社、株式会社積水技研、積水テクノ成形株式会社、大正製薬株式会社、大日本印刷株式会社、タカラトミー株式会社、中央化学株式会社、中興化成工業株式会社、株式会社千代田ビデオ、デザインアンダーグラウンド、テルモ株式会社、デンカポリマー株式会社、東京大学大学院情報理工学系研究科 廣瀬・谷川研究室、東京理科大学近代科学資料館、東芝未来科学館、東洋製罐株式会社、東レ株式会社、東レフィルム加工株式会社、東レ・プレシジョン株式会社、日産自動車株式会社、日清食品ホールディングス、日本アルコン株式会社、一般財団法人日本玩具文化財団、日本電信電話株式会社、日本バイオプラスチック協会、一般社団法人日本プラスチック食品容器工業会、公益財団法人ニューテクノロジー振興財団、バキュームモールド工業株式会社、公益社団法人発明協会、BASF ジャパン株式会社、東日本電信電話株式会社、株式会社日立製作所、株式会社フォトシンス、富士重工業株式会社、株式会社ブリヂストン、北海道大学先端生命科学研究院ソフト&ウェットマター研究室、学校法人ホンダ学園 ホンダテクニカルカレッジ関西、本田技研工業株式会社、マツダ株式会社、MESHプロジェクト ソニー株式会社、株式会社モスフードサービス、株式会社読売プリントメディア、株式会社リコー、リコージャパン株式会社、リスパック株式会社（五十音順、68企業・団体）

後 援：文部科学省、経済産業省、一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、東京商工会議所、一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人日本電機工業会、一般社団法人電子情報技術産業協会、一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会、公益社団法人自動車技術会、公益社団法人発明協会、読売新聞社（申請中）

U R L：特設サイト <https://industry50.jsf.or.jp/>

科学技術館 <http://www.jsf.or.jp/>

以 上

展示ゾーンの概要：

・「50年の冒険者たち」

概要：科学技術館と同じ頃に生まれた、ブランドやメーカーが歩んできた50年を振り返り、それぞれが今どこに、どのように進もうとしているのかを知ることで、「これまで」と「これから」を考える導入となるコーナーです。

主な展示：「新幹線」、「リカちゃん」、「リポビタミンD」、「チキンラーメン・カップヌードル」、「ブルーボックス」、「インテル」

・「クルマの都（クルマ）」

概要：いまの暮らしに欠かせない自動車技術の進化をたどり、IT技術、自動運転技術についても見ていきます。

主な展示：「走る実験室-F1」、「走る・曲がる・止まる」、「タイヤのいろいろ」、「エンジンの進化」、「ニッポンの軽自動車」、「ガソリンを燃やさないクルマたち」、「ぶつからないための技術」など

・「木もれびキッチン（食）」

概要：ヒトが暮らしの中で工夫してつくり出してきた、食の「加工」と「保存」の技術。長い歴史の知恵に重なり合う食の技術を見ていきます。

主な展示：「みそ」、「大豆加工品」、「昔からの保存の技術」、「日本の保存食・世界の保存食」、「冷凍食品と解凍技術」「植物工場」など

・「テレコミ湖（コミュニケーション）」

概要：遠く離れていても直接コミュニケーションをとることができる「電話」の歩みから、生活インフラのひとつとして欠かせなくなったネットワークを利用する技術などの進化を見ていきます。

主な展示：「モールス印字電信機」、「国産1号電話機」、「携帯電話1号機」、「初期の電卓」、「ワンボードマイコン」、「スマホってすごい!？」など

・「レジンの館（材料）」

概要：安価で利用しやすい素材「プラスチック」の利用の拡大が、現在の便利な暮らしの一翼を担っています。身近な素材プラスチックをとおして生活の変遷に関わる技術のあゆみを見ていきます。

主な展示：「人類が扱ってきた素材」、「医療用・衛生用使い切り資材」、「進化するプラスチックフィルム」、「プラスチック光ファイバー」、「合成皮革」、「いろいろなプラスチック成形」など

・「だいてんぼう広場」

概要：会場のまん中にある「だいてんぼう広場」では、実演、ワークショップ、トークショーなど参加型のイベントをいっぱい開催します。

展示ピックアップ

- まぼろしのクルマ「ホンダS360」



- 日本車F1初優勝マシン「ホンダRA272」



- 日本車ル・マン初優勝ロータリーエンジン「マツダR26B」



- 日産自動車「リーフ」バッテリーモジュール



- むかしなつかしい「黒電話」を分解してみました



- スマホにはこんなにイッパイつまっています



- どこかで見たことのあるモノ、これはどうやってつくるの？



以上

参考資料

科学技術館

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号 www.jsf.or.jp

科学技術館は東京オリンピックの年、1964 年 4 月に東京・北の丸公園に開館した科学技術・産業技術の総合的博物館。開館以来体験型の展示を中心に展開し、科学・技術を通して未来につながる好奇心・探究心、そして創造性を育ててきた。これまでの入館者累計は、まもなく 3000 万人に達する。2014 年 4 月に開館 50 周年を迎えた。

公益財団法人日本科学技術振興財団

科学技術館を運営する日本科学技術振興財団は、「わが国科学技術振興に画期的な転機をもたらすべく、科学技術の総合的な振興方策の推進、振興事業の総合調整、産業界と学会との連携の強化促進、普及宣伝啓発活動を強力に実施する……（設立趣意書より）」ことを目的として時の政界、官界、財界、産業界、学界の総力をあげて 1960 年に設立。2011 年 4 月に公益財団法人となったのちも科学技術の振興に資する諸事業を総合的かつ効果的に推進している。

2015 年は日本科学技術振興財団設立 55 周年にあたる。科学技術館開館 50 周年に続く 2014-2015 年の 2 年間にわたり「創ろう、私たちの未来を NEXT50!」をキャッチフレーズとして新たな活動展開に挑戦しており、2015 年夏に科学技術館 50 周年記念夏休み特別展「くらしの技術⇄50 年『大・展望展』」開催する。

<問い合わせ先>

公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号

E-mail : info5055@jsf.or.jp

担 当： 経営企画室 大野・高原・中島・谷本

TEL 03-3212-8470

FAX 03-3212-7790